

confidential



**fineIII** *for Consulting Map*

Hitachi Medical Computer Systems,inc.

# fineIII for Consulting Map 簡易操作マニュアル

第1版 2011.9.28

日立メディカルコンピュータ株式会社

# はじめに

本資料は、次に示すfineIII for Consulting Map（以下MAP機能）を運用するために必要な操作を簡易的な説明資料です。機能全般に関するより詳しい操作方法は別紙『操作マニュアル』をご参照下さい。

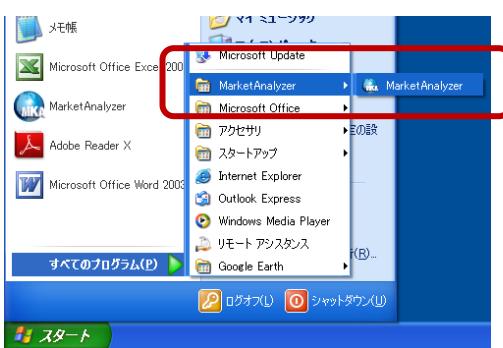
## 【Contents】

- ◆ 1. CSVファイルのインポート方法 …P.3
- ◆ 2. 来院理由別の色分け方法 …P.4
- ◆ 3. 来院理由別グラフを表示 …P.5
- ◆ 4. 歯科医院場所の登録と来院圏の設定 …P.6
- ◆ 5. 紹介した患者／された患者を地図に表示 …P.7
- ◆ 6. 年齢別の患者数を地図で表示する …P.8
- ◆ 7. Excelレポートの作成方法 …P.9

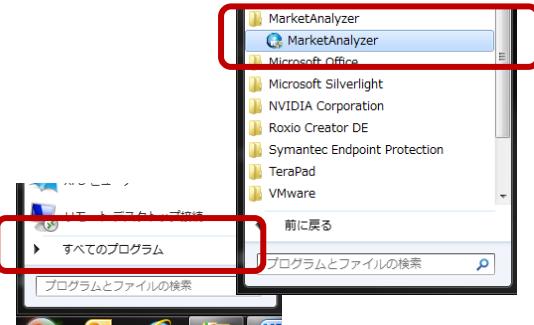
## MAP機能の起動方法

➤ [スタート]メニュー - [すべてのプログラム]-[MarketAnalyzer]-[MarketAnalyzer]をクリックします。

WindowsXPの場合



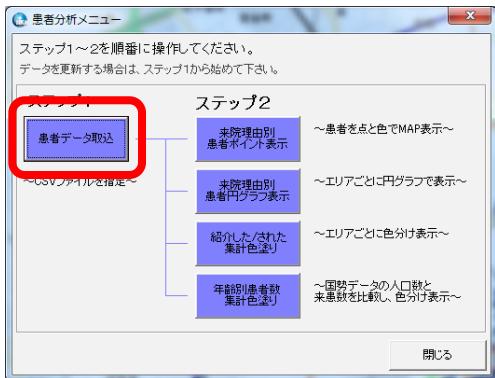
Windows7の場合



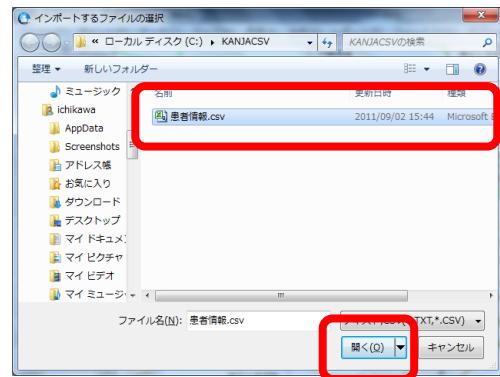
# ◆1. CSVファイルのインポート方法

fineⅢからエクスポートした患者データをMAP機能へインポートします

①患者分析メニューウィンドウ内の「患者データ取込」ボタンを押す。



②インポートするファイルを選択し、「開く」ボタンを押す。



患者データと格納場所は固定されています。

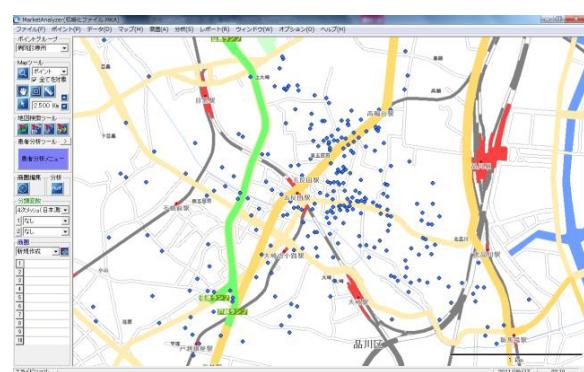
ファイル名：患者情報.csv

格納場所：Cドライブ直下のKANJACSV  
フォルダ内

## POINT

開くボタンを押した後は、幾つかの処理が自動的に実行されますのでしばらくお待ちください。

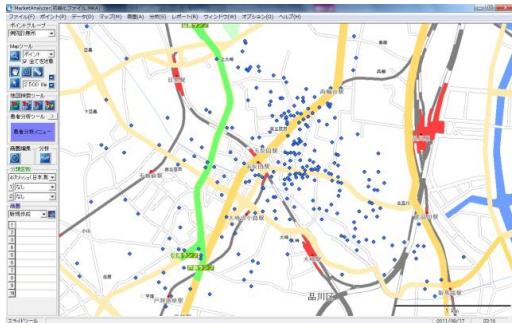
③患者住所の読み取精度（ジオコーディング結果）が表示され、  
地図上に患者分布が表現されます。



## ◆2. 患者分布の来院理由別色分け方法

地図上の患者分布を来院理由で色分けします

①患者分布が地図上に表示されているか確認する。

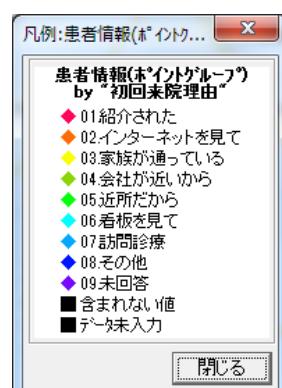
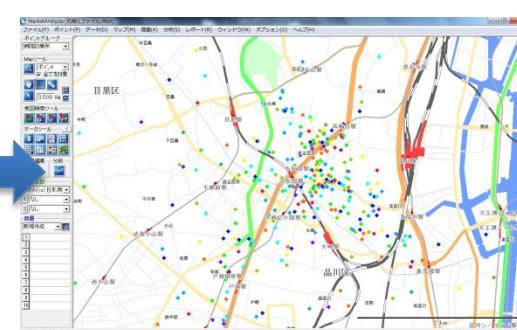
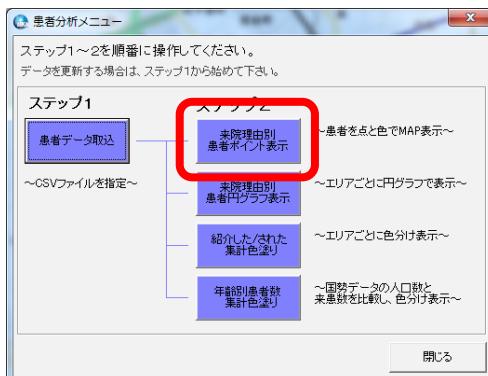


患者データの表示・非表示の切り替え方法は別紙「操作マニュアル」をご参照下さい。

②患者分析メニューから、「来院理由別患者ポイント表示」ボタンを押す。

### POINT

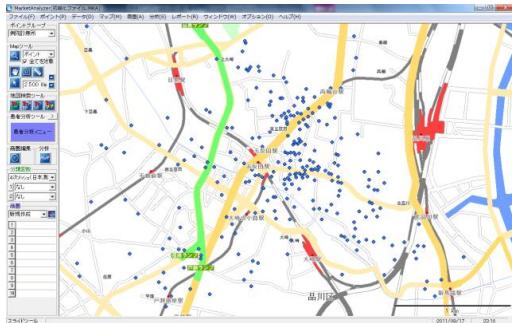
「来院理由別患者円グラフ表示」ボタンを押した後は、幾つかの処理が自動的に実行されますのでしばらくお待ちください。



## ◆3. 来院理由別グラフ表示方法

来院理由を集計し地図上に円グラフを表示します

①患者分布が地図上に表示されているか確認する。

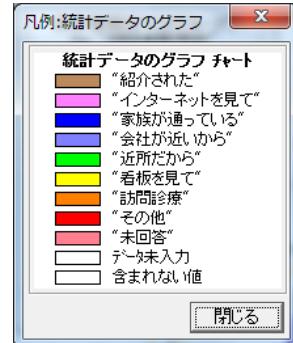
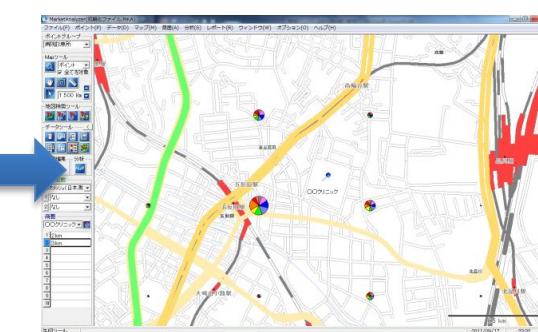
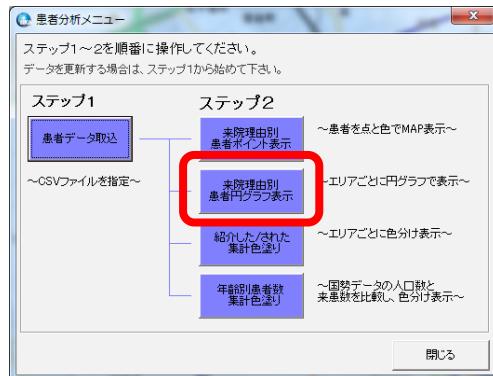


患者データの表示・非表示の切り替え方法は別紙「操作マニュアル」をご参照下さい。

②患者分析メニューから、「来院理由別患者円グラフ表示」ボタンを押す。

### POINT

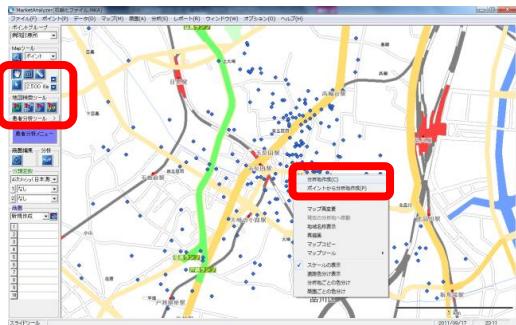
「来院理由別患者円グラフ表示」ボタンを押した後は、幾つかの処理が自動的に実行されますのでしばらくお待ちください。



## ◆4. 歯科医院場所の登録と来院圏の設定

分析対象となる歯科医院の場所と来院圏を設定します

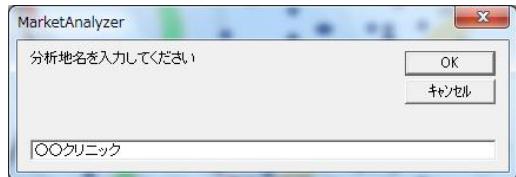
①分析対象病院の場所を地図上に表示します。



地図の移動方法、縮小・拡大は、画面左上のMapツールや地図検索ツールを利用します。  
(詳細は操作マニュアルをご参照下さい。)

歯科医院の場所の上でマウスの右クリックをし、メニューから「分析地作成」を選択します。

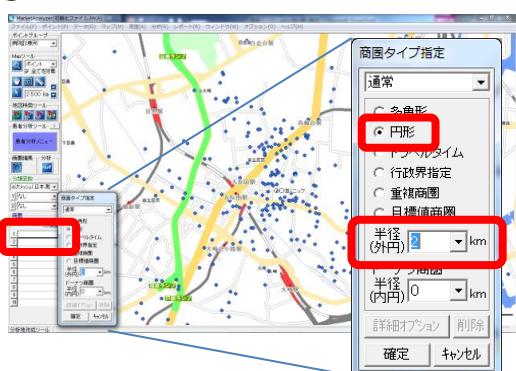
②分析地名を入力し、OKボタンを押します。



歯科医院名を入力し、OKボタンを押します。

地図上に青い虫ピンマークが表示されます。  
画面左下部に歯科医院名が表示されます。

③歯科医院名の下の白い空欄部分をクリックし来院圏を設定します。



左図の赤枠内、数字の1と書いてある右の白い部分をクリックし、「商圏タイプ設定」というウィンドウを呼び出します。

「円形」にチェックをし、半径を選択（又は入力）し、確定ボタンを押します。

地図上に円形の来院圏が表示されます。

④同様に2つめの来院圏も設定します。

③の手順と同様ですが、数字の2と書いてある右の白い部分をクリックします。

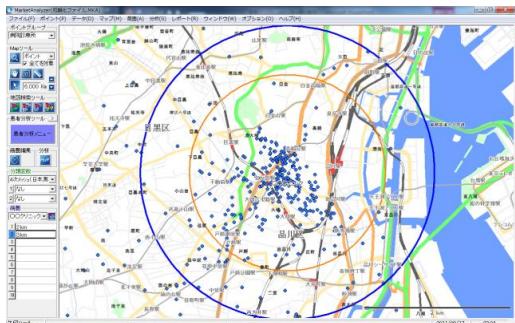
### POINT

上記例は円形の来院圏ですが、他にも歩行・自転車・自動車等の設定が可能です。詳細は「操作マニュアル」をご参照下さい。

## ◆5. 紹介した患者／された患者を地図に表示

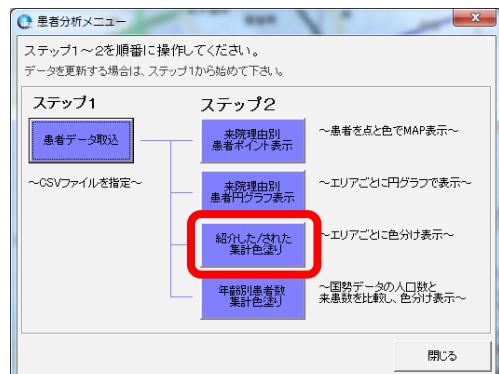
紹介した／された患者数を地図上で表現します

①歯科医院と来院圏が設定されているか確認する。



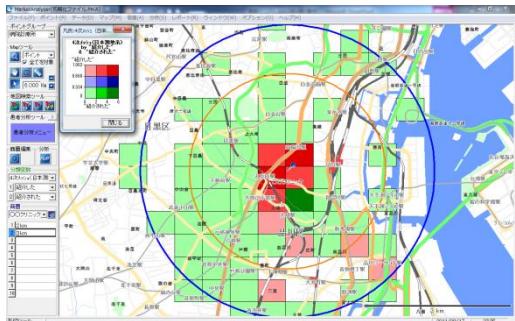
P6. 『歯科医院場所の登録と来院件の設定』を行ったうえで実行して下さい。

②患者分析メニューから、「紹介した／された集計色塗り」ボタンを押す。



**POINT**  
ボタンを押した後は、幾つかの処理が自動的に実行されますのでしばらくお待ちください。

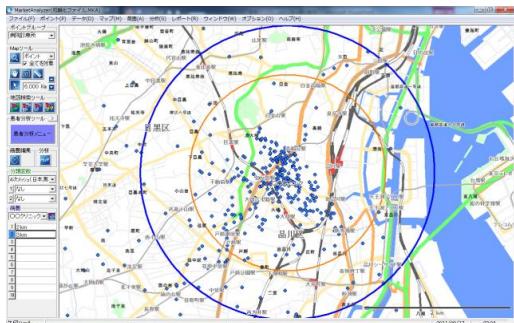
③自動処理後、以下のようになります。



## ◆6. 年齢別の患者数を地図で表示

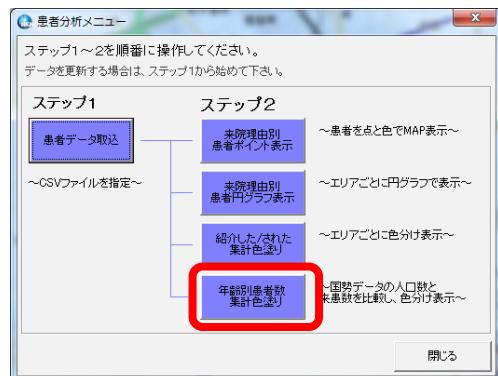
年齢別に患者数分布と居住者分布を地図上で表現します

①歯科医院と来院圏が設定されているか確認する。



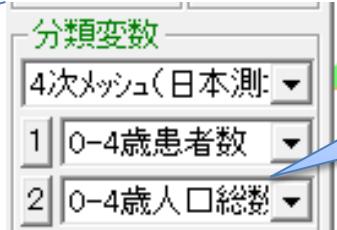
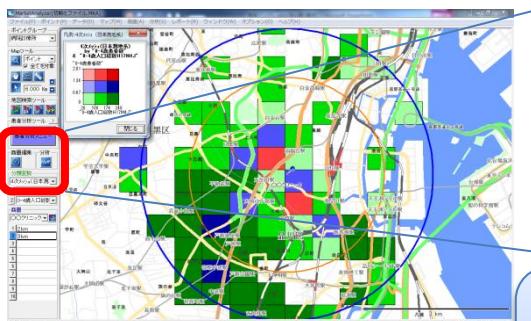
P6. 『歯科医院場所の登録と来院件の設定』を行ったうえで実行して下さい。

②患者分析メニューから、「年齢別患者数集計色塗り」ボタンを押す。



**POINT**  
ボタンを押した後は、幾つかの処理が自動的に実行されますのでしばらくお待ちください。

③自動処理後、以下のようになります。



上段: 患者数  
下段: 居住人口

**POINT**

デフォルトの設定は0-4歳の患者数、居住者数が設定されていますが、プルダウンで切り替えることができます。

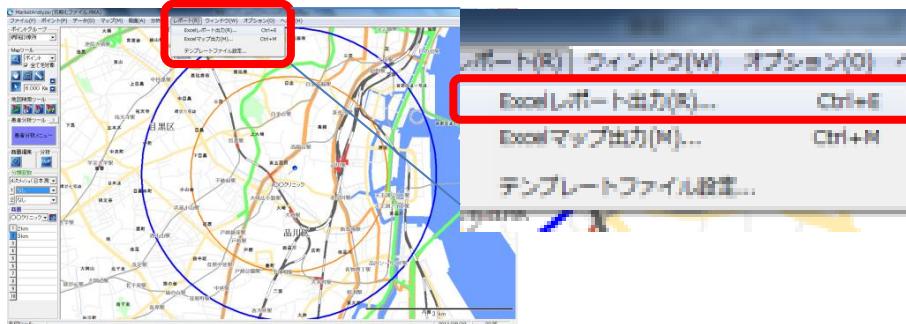
## ◆7. Excelレポートの作成方法

来院圏内の様々な情報をExcel形式のレポートに自動出力します

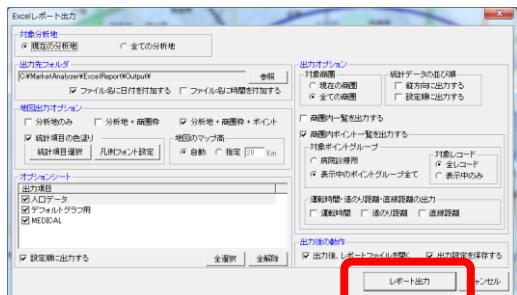
①歯科医院と来院圏が設定されているか確認する。

P6. 『歯科医院場所の登録と来院件の設定』を行ったうえで実行して下さい。

②メニュー（レポート）から「Excelレポート出力」を選択



③Excelレポート出力画面から「レポート出力」ボタンを押す。



④Excelレポートが自動的に作成されます。



自動的にレポートが作成されます。

Excelレポートの保存先は、システムをインストールしたドライブ（例はCドライブ）直下の C:\MarketAnalyzer\ExcelReport\Output に保存されています。